

カニ博士と一緒に勝浦川河口干潟の観察会

◇日時：6月14(日) 10:00~12:00 * 観察会は事前申込必要！！

◇参加費：おとな300円・高校生以下100円 ★小学生は保護者同伴

◇申込先：FAX、E-mail または葉書で、とくしま自然観察の会までお申込みください。

FAX 088-623-6783 E-mail: madoguchi@shiomane.net

〒770-0944 徳島市南昭和町3-19-1 募集60名 先着順です。



★しおまねき探検隊の場所は、勝浦浜橋下の
勝浦川河口干潟、和田先生と一緒に探検します

勝浦川河口域は、近隣の吉野川河口域とともに、日本から失われつつある強内湾系の干潟生物が豊富に見ることができる貴重な自然遺産です。環境省の重要湿地500に選定されています。特に勝浦川は、小規模な中に多様な干潟環境を具えもった特徴をもっており、干潟の生物を環境と関連づけて学ぶには絶好の場所と言えます。ハマツナ、ハマサジ、フクド、ヨシ、アイアシといった植物がどのように分布し、シオマネキ、ハクセンシオマネキ、アリアケモドキといったカニ類やヒロクチカノコガイ、フトヘナタリ、カワアイガイといった巻貝類がどのような生息場所を占めているのかを見通すことができます。

◆和田恵次先生プロフィール(カニ博士・徳島の干潟とかかわって20年) 1950年和歌山市生まれ 奈良女子大学大学院自然科学系教授。専門は動物生態学、海洋生物学。主な研究テーマは干潟のカニ類の行動、生態、系統進化、保全生物学。干潟関連の著書に「干潟の自然史-砂と泥に生きる動物たち」(京都大学学術出版会, 2000)、「海洋ベントスの生態学」(日本ベントス学会編、責任編集、東海大学出版会, 2003)、「干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック」(日本ベントス学会編、分担執筆、東海大学出版会, 2012)など



カニ博士の干潟のセミナー

吉野川のこと勝浦川のこと、徳島の干潟のお話がまとまって聴けるチャンスです。

◇日時：6月14(日) 14:00~16:00 * セミナーは当日参加大歓迎！

◇会場：ふれあい健康館 ((徳島市沖浜東2-16) 2階 第4会議室 参加無料！！

◇演題：『吉野川と勝浦川の干潟生物のもつ価値-15年間の研究成果から』和田恵次先生・奈良女子大学

◆カニ博士メッセージ：吉野川と勝浦川はともに徳島市という大都市にありながら、日本から失われつつある強内湾系の干潟生態系を具えもつ貴重な自然遺産である。これまで吉野川の第十堰問題を始め、橋の建設や埋め立てなどの人為的改変事業を受けながらも、両地域は、今なおその貴重な干潟生物の多様性を維持している。とくしまの自然観察の会など吉野川で活動をしている市民の皆さんより依頼を受けて行った吉野川河口域でのシオマネキ類の分布調査以来、私は、吉野川河口域と勝浦川河口域の貴重な干潟生物を対象にした様々な生態学的研究を行ってきた。それはこの地域のもつ干潟環境・干潟生物が、他に類をみないほどの貴重な特徴を有していたからに他ならない。15年間に亘り、この2つの河口域を調査フィールドとして活用させていただいたその研究の成果を披露し、吉野川・勝浦川の河口域のもつ貴重性の認識の一助とさせてもらいたい。研究成果の概要は、シオマネキ類の行動生態・分布生態・生活史、ヨシ原内イワガニ類の共存機構、そして勝浦川や吉野川のカニ類のもつ遺伝的特徴である。

主催：とくしま自然観察の会

後援：徳島市教育委員会

協賛：パタゴニア神戸